

○令和2年度第1回渋川市総合計画審議会結果概要

| | |
|------|--|
| 会議名称 | 令和2年度第1回渋川市総合計画審議会 |
| 開催日時 | 令和2年10月23日(金) 13時30分から15時30分まで |
| 開催場所 | 渋川市役所 本庁舎3階 大会議室 |
| 出席者 | <p>○審議会委員：河藤会長、結城委員、田谷委員、野村委員、南雲委員、島村委員、藤岡委員、川島委員、新井正喜委員、水沢委員、山本委員、寺島委員、大森委員、石井委員、原委員、永井委員、新井好夫委員、武藤委員</p> <p>○市長、教育長</p> <p>○部局長：市長戦略部長、総務部長、総合政策部長、市民環境部長、福祉部長、スポーツ健康部長、産業観光部長、建設交通部長、危機管理監、上下水道局長、教育部長、議会事務局長、監査委員事務局長、農業委員会事務局長</p> <p>○事務局：政策創造課長、政策創造課課長補佐、企画戦略係員</p> |
| 配付資料 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料No.1 渋川市総合計画審議会の会長及び副会長の選任について ・資料No.2 第2次渋川市総合計画第2期実施計画（令和元年度）の進捗状況一覧 ・参考資料 第2次渋川市総合計画書（新任委員のみ） |
| 会議次第 | <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 3 あいさつ 4 自己紹介 5 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 渋川市総合計画審議会の会長及び副会長の選任について (2) 第2次渋川市総合計画第2期実施計画（令和元年度）の進捗状況について 6 その他 7 閉会 |
| 審議結果 | <p>(1) 渋川市総合計画審議会の会長及び副会長の選任について 会長は指名推薦、副会長は議長一任によって下記のとおり選任した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長 河藤委員 ・副会長 結城委員 <p>(2) 第2次渋川市総合計画第2期実施計画（令和元年度）の進捗状況について 各委員より総合計画の各分野について、意見や質疑があった。 （詳細は審議概要のとおり）</p> |

○ 議事の審議概要

(1) 第2次渋川市総合計画第2期実施計画（令和元年度）の進捗状況

| No. | 委員からの意見等 | 市回答等 |
|-----|--|--|
| 1 | <p>先日の伊香保地区、赤城地区の火事における消火活動では、消火栓が少なかったり、水量が少なかったりと課題があった。今後、対策を考えていただきたい。</p> <p>また、消防団員の確保が課題となっている。</p> | <p>水利の重要性については、消防署及び消防団から話を受けたところ。計画的に防火水槽の新設を行っているが、水道が来ていない山間地や、道路が狭く防火水槽が設置できない場所がある。今後、消火栓の設置と併せて、広域消防本部と協議しながら対策を行っていきたい。</p> <p>消防団員の確保については、消防団員になった際のメリットをアピールしながら、募集していく。</p> |
| 2 | <p>現在の本市の人口は、市人口ビジョンにおける数値を下回っている。今後、人口ビジョンの見直しを行う予定か。</p> | <p>現在の市人口は、平成27年に策定した市人口ビジョンにおける数値を下回っているものの、社人研による推計値は上回っている状況だ。人口ビジョンは、5年に1度の国勢調査を基礎としているので、来年度に現在実施している国勢調査の結果が公表されてから、人口ビジョンの見直しについても検討していく。</p> |
| 3 | <p>新産業ゾーン創生に関して、令和2～3年度の取組について伺いたい。</p> | <p>令和2年3月に新産業ゾーン創生構想を策定した。また、令和2年7月～8月に、渋川市都市計画マスタープランの改定案、地域公共交通網形成計画について、市内で説明を行ったところ。現在は、渋川市産業立地検討委員会、そして下部組織の渋川市産業立地推進部会において、造成費やアクセス道路の整備、配水整備のコスト、交通の利便性等の検討を行い、優先して整備していく区域の選定を進めている。</p> |

| No. | 委員からの意見等 | 市回答 |
|-----|---|---|
| 4 | J R 八木原駅周辺整備の状況や駅の無人化の予定について伺いたい。 | <p>令和元年度に、用地測量や補償費算定、駅前トイレの修繕工事等を実施した。令和2年度は、西側駅前広場用地の測量業務委託を実施している。</p> <p>J Rとは、駅舎の基本設計、自由通路等につきまして、協議している。</p> |
| 5 | 吉岡バイパスの延伸の要望について、どのような状況か。 | <p>現在県で「はばたけ県土整備プラン」の見直しをしているところで、県に対しては、渋川市と吉岡町で本件を継続して記載するよう要望している。</p> |
| 6 | 金井東裏遺跡の活用について伺いたい。 | <p>令和2年10月から金井東裏遺跡の管理が県から市に移管した。現在は、現地に看板の設置を行っている。令和元年度は金井遺跡群等活用事業を実施し、令和2年度は榛名山噴火関連遺跡等の活用に関する有識者会議を開催している。認定となった県の県立歴史博物館イノベーション文化観光拠点計画では、令和3年度に榛名山噴火関連遺跡調査研究事業を実施予定であるので、県と協力しながら、魅力発信していく。</p> |
| 7 | 先日の伊香保地区の火事に関連したこととして、下呂温泉では、危険建物の解体に入湯税を活用している。本市でも検討いただきたい。 | <p>空き家対策では、個人の所有物に対して、税金を投入して解体を行うことになる。景観上の指導として対策を実施することは、通常空き家対策と視点が違うと思われるが、今後別途検討していく。</p> |
| 8 | コロナの影響があった事業の数や費用について伺いたい。 | <p>全事業のうち、4分の1程度がコロナの影響を受け、ハワイアンフェスティバルやへそ祭り、山車祭り等のイベントが中止となった。</p> |

| No. | 委員からの意見等 | 市回答等 |
|-----|--|--|
| 9 | 高崎渋川バイパスから有馬企業団地を結ぶ道路の拡幅について、原道拡幅となるのか | 現道が狭い道路のため、現道を使用する部分と、現道北側の山林を通る部分を検討している。 |
| 10 | 災害時に発生する廃棄物について、対応をお伺いしたい。 | 今年度策定中の防災計画において、災害廃棄物の一時保管場所について、協議を進めている。 |